

# 緑の相談所だより

No. 101

編集 ・ 発行

財団法人 旭川市公園緑地協会 旭川市緑の相談所

発行日  
平成 18年 8月 1日

## 「緑のセンターまつり 2006」

開催!!

とき

平成 18年 8月 6日 (日)

Am 10:00

～ Pm 4:00

ところ

旭川市神楽岡公園内

緑のセンター

開催イベント

青空体験教室、

球根プレゼント、

フラワービンゴゲーム

まだ他にも色々。

是非  
お越し下さい!



## 講習会のご案内

9 月

### 「秋植え球根の植え付けと草花の鉢上げ」

とき 平成 18年 9月 3日(日)

平成 18年 9月 10日(日)

どちらも Pm 1:30 ～ 3:30

講師 緑の相談所 相談員 石川 敏雄 定員 50名

\* 9月10日(日)のみ場所が永山中央公園 管理棟休憩室

になります。住所: 旭川市 永山6条18丁目

### 「バラづくり実践 ②」 [管理と冬囲い]

とき 平成 18年 9月 23日(土) Pm 1:30 ～ 3:30

講師 旭川ばら会 後路 和美 さん 定員 50名

### 「紅葉の神楽岡公園」 [樹木と親しむ]

とき 平成 18年 9月 24日(日) Pm 1:30 ～ 3:30

講師 旭川21みどりの会 成田 一芳 さん 定員 50名

## 展示会のご案内

### 「秋のバラ展」

とき 平成 18年 9月 22日(金) ～ 9月 24日(日)

Am 9:00 ～ Pm 4:00

協賛団体 旭川ばら会

\* 22日(金)は会場準備のため、観覧は午後からとなります。

お申込み・お問合せ・ご相談 など

旭川市緑の相談所 ☎ (0166)65-5553 まで。

お気軽にお尋ね下さい。

## おまけのコーナー

お時間があればチャレンジして見て下さい。

次の漢字は何て読むでしょう?? 全部で 15 問。

わかりますか? ヒント! 答えは全て植物の名前です。

- |    |       |       |       |
|----|-------|-------|-------|
| 問題 | ① 向日葵 | ② 鳳仙花 | ③ 蒲公英 |
|    | ④ 沈丁花 | ⑤ 女郎花 | ⑥ 石楠花 |
|    | ⑦ 菖蒲  | ⑧ 木瓜  | ⑨ 無花果 |
|    | ⑩ 風信子 | ⑪ 山茶花 | ⑫ 蕃石榴 |
|    | ⑬ 老母草 | ⑭ 金盞花 | ⑮ 土筆  |

\* 答えは裏面に記載してあります。

## ペチュニア [その②] ナス科ペチュニア（ツクバネアサガオ）属

ペチュニアの育種は前号で紹介したようにイギリスで始まったが、ドイツ、ベルギー、フランスの専門育種会社の手に移ると花壇や窓辺の鉢物向きとして幅広い用途に適する品種が次々に作られていきました。

花色も野生種の白色、赤紫色からラベンダー、ピンク、濃桃色、紫色、クリーム色、青色と色幅が急増した上、複色の星咲き、覆輪咲き、縞模様、網目模様、刷毛目模様などさまざまな色彩の品種が作り出されました。さらに、一重咲きから八重咲き種に、小輪多花性から大輪、巨大輪咲き系統が、また、花卉の縁が波状にフリルするもの、草姿は用途に応じて高性、中性、矮性等と20世紀の花壇の女王として君臨する性質が19世紀後半に作られたのです。



### 日 本 へ

1852年（文久2年）にアメリカから導入され、「本草要正」に「ペテンヤ」と渡来名が記載されました。「遠西舶上花譜」には日本で始めての「ヘテンヤ」の3枚の彩色画が載っています。それ以来ガクの形が羽根突きの羽根に、また花の形が朝顔に似ているため、和名がツクバネアサガオと呼ばれてきました。

### アメリカでの育種

アメリカでは、カリフォルニアの良い気候環境を生かして花の採種をしていたシェパード夫人とグールド夫人の二人は1886年にペチュニアの巨大輪種に目をつけ、品種と採種技術の改良をし、採れた種子を販売開始しました。その品質の良さと巨大なものを好む国民性が相まって、すぐに全米で大好評を博しました。この品種は「カリフォルニア、ジャイアント」と呼ばれ、ヨーロッパにも輸出されました。その後、現在でも世界的な花の育種会社のポジャー社が待望の緋赤色の「ファイアーチーフ」を発表して、世界の花のもっとも権威ある品評会 AAS でメダルを獲得しました。

このカリフォルニア南部は、アメリカンドリームをペチュニアなどの育種に賭ける男たちのメッカとなったわけです。

坂田種苗 KK 須田俊一郎氏のレポートから紹介  
(次回は日本でオールダブルペチュニアの作出から)

## 展示室の植物たち シリーズ「8」

### マクロリザ(インドクワズイモ) サトイモ科アロカシア（クワズイモ）属

【 温室内で一段と大きな葉を出して、君臨しています。 】

東南アジアから太平洋諸島にかけて 60 種以上が分布している。高さが2mにもなり、葉身は緑色で大きく1mを超えることがあります。多年草で茎は肥大し短く、地上及び地下にあり、肉穂花序をつけるが花は観賞価値がありません。また、クワズイモは毒性が強くて食べられないことから「食わずイモ」という名がついたのですが、茎の余りえぐくない品種（このインドクワズイモ）は、トンガやサモア諸島では乾燥にも強く、生育も旺盛で収量も多いため食糧植物として重要なものになっています。

# 北海道の庭園木 「イ チ イ」

イチイ科 イチイ属

「イチイ」は別名「オンコ」、「アララギ」とも呼ばれています。北海道ではオンコの愛称で庭園木として親しまれています。昔、イチイの木から笏(シャク)を作ったので朝廷から一位の名を賜ったとの言い伝えがあります。笏とは束帯着用するとき、右手に持つ細長い薄板のことです。君命等を備忘用に使いました。

イチイは北方系の植物で耐寒性に富み、土質を選ばず丈夫なので病害虫も少なく、樹性、萌芽性も強いので刈り込みに向きます。生け垣にも多く使われ、また趣味的な庭木として、ツル、カメ、クマ、円形、ピラミッド形に刈り込まれているのはこのためです。

高さ15m、太さ1mにもなる常緑樹の雌雄異株で、赤く熟した果実「オンコの実」と呼び食べられています。果肉は甘くて大変美味しいものですが、種子はかじると苦く有毒です。仲間には果実が黄色く熟する「キミノオンコ」と、幹の下部が地を這って低木状になり、葉が短く螺旋状に互生し枝も密に出る「キャラボク」があります。



オンコの実



## 主なイチイの病害虫

### ※ カイガラムシ

若い枝の樹液を吸いながら繁殖するため、枝を弱らせます。開花時の雄花がカイガラムシと時々間違えることがあります。防除は殺虫剤を5月下旬～9月上旬までに散布します。

### ※ ナガチャコガネ

幼虫は土の中で2年間、根の先端を食べるため樹性を弱らせます。防除方法は、殺虫剤をイチイの根のまわりに散布します。

### ※ スス病

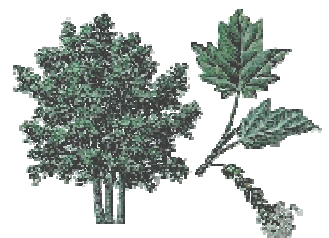
5月上旬～6月中旬にかけてカイガラムシの排泄物が枝や葉にかかり光ったように濡れてきます。これに黒いカビが生え、葉や茎を黒くします。防除方法はカイガラムシを防除することです。

## 剪定時期について

※ イチイは剪定に強い木です。1～2年枝の剪定や刈り込みはいつでも出来ますが、太い枝の剪定は樹木の休眠期の3月頃に剪定します。

## 神楽岡公園のヤマナラシ属

神楽岡公園内にはヤマナラシ、チョウセンヤマナラシ(エゾヤマナラシ)、ドロノキ(ドロヤナギ)の3種が自生しています。また、樹木園には、チリメンドロ(ニオイドロ)が植えられています。



## 8月の園芸作業

### 1 鉢花類

- ✳ 昼間に水やりはしないで、早朝にたっぷり与え、猛暑で乾燥が激しい時は夕方にもやりましょう。
- ✳ 開花中の鉢はこまめに花がらを摘み、摘んだ枝先は挿し木して枝の更新をしましょう。
- ✳ シャコバサボテン、アザレア、ツバキ、盆栽の梅等は、花芽が形成しますので、花芽形成を助けるリンやカリ肥料を与えましょう。
- ✳ 地植えた鉢花はお盆までには鉢上げしましょう。
- ✳ シクラメンはお盆が過ぎたら新しい用土に根鉢の周り3分の1程削り植え替えましょう。
- ✳ クンシランは中旬で置き肥と液肥を止め、来月から水やりも控えましょう。

### 2 庭木・果樹類

- ✳ リンゴ、ナシ、サクランボ等の立ち木の果樹は側枝から空に向かって垂直に伸びる枝(徒長枝)が発生しますので、元から切り取りましょう。
- ✳ 甘いブドウをつくるためには葉に太陽の光を当てる必要がありますので、枝が重ならないよう誘引し、葉の付け根から出る副梢(わき芽)は2〜3枚切り取りましょう。
- ✳ ツツジ等、花芽ができている枝の刈り込みに注意しましょう。
- ✳ 長年放置されたアカマツ、クロマツ等の剪定は一度に強い剪定はできませんので数年かけて整枝しましょう。

### 3 洋ラン類

- ✳ シンビジウムは上旬には置き肥を止め週1回の液肥に切り替え、水やりと日光によく当てましょう。
- ✳ デンドロビウムは昼夜の温度差が大きくなるにつれて成長が鈍くなりそれに伴ってバルブが太ってくると、今年伸びたバルブの先端に小さな葉が1枚つきます。これを『止め葉』と呼び、この時から肥料を一切与えず水やりも控えましょう。
- ✳ カトレア類のシースが出かかった株は追肥を中止しましょう。
- ✳ 8月も末になると最低気温の注意し、戸外で管理しているカトレアは12℃を目処に入室しましょう。

## 9月の園芸作業

### 1 草花・球根類

- ✳ 宿根草で長年植えっぱなしのものは、老化して花が小さくなったり、咲かなくなったりしますので株分けや植替えをしましょう。
- ✳ ハイビスカス等の耐寒性の無い鉢物は9月中旬には入室しましょう。クンシランは、10月上旬(霜に注意)に入室し、入室前に病害虫、不快害虫防除をしましょう。
- ✳ インパチェンス、アキランサス、コリウス、ガザニア等の花壇の草花の一部を鉢上げしましょう。
- ✳ カンナ、アマリリスは霜の来る前に掘上げ、無暖房の室内等で管理しましょう。
- ✳ スイセン類、クロッカス、シラー等の球根は中旬から下旬に定植しましょう。
- ✳ ポインセチア、クリスマスカクタス(シャコバサボテン) カランコエは短日処理をして咲かせましょう。(短日処理＝夕方5時から翌朝8時までダンボール等で覆うこと)

### 2 庭木類

- ✳ イチイ、マツ類の剪定は9月までに終わらせましょう。
- ✳ ボタンは気温が下がってくると地際近くから新根が出始めますので、リン、カリ肥料を施肥し、自根を出させるために5〜7cm位土寄せしましょう。
- ✳ 生け垣、玉物等、新芽が伸びて不揃いになったものは随時刈り取りましょう。
- ✳ 西洋シャクナゲ等、寒さに弱い花木にはカリ肥料(硫酸カリ)を与えましょう。

### 3 洋ラン類

- ✳ シンビジウムはバルブの充実期、最低気温10度程度なら戸外に置きましょう。デンドロビウム(ノビル系)も同様に管理しましょう。ただし、朝の最低気温が7〜8℃になったら入室し、暖房のない明るい窓辺で管理しましょう。(夜間10℃、昼間20℃が適温) 施肥はしない。
- ✳ カトレアは中旬には入室し、明るい窓辺に置き、昼間20℃〜25℃、夜間15℃〜18℃を目標に管理しましょう。